



一隅を照らそう
12月号

335号
毎月28日発行

E-mail: info@tougakuin.jp



〈訃報〉
天台座主第二五七世 森川宏映探題大僧正におかれましては十一月二十二日、老衰のためご遷化されました。九十六才。慎んでご冥福をお祈り申し上げます。
合掌

今年の掲示板

住職 中島 有淳

女坂の登り口の掲示板に月に二度(一日、十五日)短い文を掲載しています。暮れに、今年一年のことばを振り返ってみます。その時の気持ちによって、文字から受ける印象は違うものです。

一月 仏ごころを訪ねる
牛歩前進 方便の門を開く
二月 心こそが「いのち」
たらい(盥)から
たらいに移る
ちんぷんかん
伝 小林一茶

三月 花は蝶を招くに心なく
恩も知らず 義務も知らず
蝶は花を尋ねるに心なし
知らずして帝則にしたがう

四月 春のうちに 田を耕そう
私たちは
仏の教えに 包まれている
我が志を述べよ

五月 蒔かぬ種は生えぬ
善知識との出会いこそ
六月 一隅を照らす
仏道の全体である

七月 転んだら 起き上がるのは
出会いが人を 広げていく
小さな子供でも
別れが人を 深めていく
知っていること

八月 自分のつとめに 専念する
一本の木の
一本の葉として 生きる

九月 背後の力 背後の大悲を
生かされたいのちの
信じる
使命に 精進しましょう

十月 佛心は
土台のない三階は無い
金色に 光り輝いている

十一月 野の花のごとく
今日もきつとよい筈だ

何気ない一言が心に残る、といった経験は、皆さまお持ちかと思えます。當山の掲示板にご信徒の皆様の方に届く言葉が、果たして幾つあったでしょうか。
本年もいろいろとお世話になりました。
良いお年をお迎え下さい。

折りふしのはな

カリフラワー
地元の農家の方から
採りたてのカリフラワーを
頂きました
茹でたり シチューにしたり
ほっこりとして
とてもおいしかったです
和名を 花椰菜(なごやし) と言うようですが
最澄様の生きた
千二百年前は さて どんな物を
召し上っていたのでしょうか (遊)



行事案内

- ◎八日 午後二時
薬師如来祈祷会 観音経読誦
- ◎十八日 午後二時
観音経読誦法要(於・神木観音堂)
- ◎二十二日 午後二時(冬至)
- ◎二十八日 午後二時
不動明王護摩供修行
- ◎令和四年元旦 午前五時・午後二時
開運初護摩供修行

マスク着用の上、ご無理のないようご参詣下さい

12/11(土) 月例
「止観(坐禅)会」 9:30-10:30(¥500)残8席
「法華経を読む会」 11:00-12:00(¥300)残3席

あとがき

○當山の十二月は、冬至の「星祭供」と新年の「開運初護摩供」の準備を粛々と。来年にはコロナ禍が収束します様に。
○十二月八日は「成道会」です。この日お釈迦さまがお悟りを開かれ、それから二千五百年以上。多くの国や人々に生き方、考え方を説かれていたのです。
○昔からの風習で、暮れに土地の家々に「お釜」の御札と御幣を配ります。年々と軒数も減り、永く続いたこの習わしもいつまで続くのか、少し気を揉むところです。
○作家で天台宗僧侶の瀬戸内寂聴さんが十一月九日逝去。九十九才。五十一才で中尊寺で得度。最晩年まで執筆され独自のスタイルで布教されていた方で、その影響力も大きかったです。
○大リーグの今期最優秀選手(MVP)に投打の「二刀流」による歴史的な活躍を見せたエンゼルスの大谷翔平選手(27)が満票で決定。いやはや凄いです。おめでと。
○境内の落葉もこれからがピークで、冬の装いを迎えます。掃除に「これで充分」は無く、きりのない世界です。師走、お大事にお過ごし下さい。

合掌

〈年末年始のご来山について〉
冬至の「星祭供」並びに新年の「開運初護摩供」は例年通り厳修致します。ご参詣の方はマスクの着用をお願い致します。初詣は松の内に分散してお参り下さい。